

8300MB 取扱説明書

audiolab

1: 安全上・使用上のご注意



正しく安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
すべての警告に注意を払ってください。

必ず手順に従ってください。

水の近くでは使用しないでください。

掃除する際は、必ず乾いた布をお使いください。

製造元の指示に従って設置してください。

次のような場所に置かないでください。

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になる場所

必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んで使用してください。



ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

長時間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

もし雷が鳴り出したら、機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

何か機器に異常が生じた場合、お客様による修理などは危険ですのでおやめください。安全を確認してから販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

※注意：これを無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定されます。

内容をよく理解し、操作手順にするされていないことは決しておこなわないでください。

この機器を設置する際は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し離して置いてください。

ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにする
- ・押し入れ・AVラック以外の本箱など風通しの悪い場所に置いたりして使用する
- ・テーブルクロスをかけた、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

※警告：必ず付属の電源コードを使用してください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池を使用するときは、極性表示に注意し、表示のとおり正しく入れてください。

指定以外の電池のご使用、また新しい電池と古い電池を混ぜてのご使用はおやめください。

また、電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。

※注意：間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

※電源電圧：Audiolab 8300シリーズの電源電圧は、後部パネルに示されています。もしこの電圧の値がお住いエリアの電圧と合っていない場合、販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

IECメインプラグを取りはずすと、後部パネルにあるメイン供給ヒューズが確認できます。もしヒューズに破損がある場合、交換をする前に、異常がある個所の原因を確認して下さい。

ヒューズの値は次のとおりです。
100-120V、T1.6AL 250V スローブロー

2: ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます

8300MBは、靴箱ほどの大きさの筐体に250Wの高品質でバランスのパワー段を収めたモノラルパワーアンプです。大型のスピーカーを駆動し、制御するための優れた大電流駆動能力を持っています。

Audiolabシリーズのこの最新の製品は、バランス(XLR)入力を最大限に活用する完全平衡型のアンプワーステージを特徴としています。これにより、長いケーブルでもバランス出力を使用して、8300MBは8300CDと高い親和性を発揮します。必要に応じて、各スピーカーの近くに8300MBを配置し、長いバランスケーブルを使用して、8300CDまたはプリアンプから信号を転送できます。これにより、8300MBがスピーカーとさらに密接に接触するため、スピーカーの制御能力が更に向上されます。

純粋な音質と制約のないダイナミクスをきっと気に入っていただけるでしょう。8300MBから最高のパフォーマンスを得るために、ご使用になる前にこのマニュアルをお読みください。

出力

- スピーカーターミナル
- 12V トリガー出力

入力

- RCA アンバランス 入力
- XLR バランス 入力
- 12V トリガー 入力

機能・特徴

- RCA/XLR ラインインプットセレクター
- 250W 出力
- 4 オーム 8オームのスピーカーに対応
- ハイエンド品質の完全平衡型のデザイン
- 低歪率のハイエンドアンプ

本体 付属品

以下のものが同梱されているか確認してください。

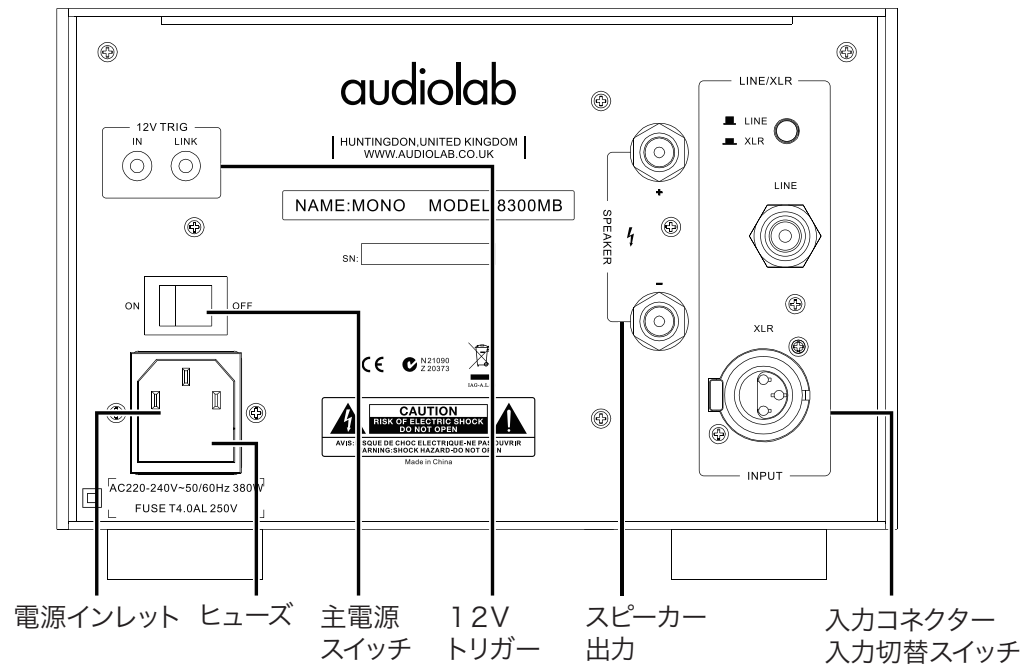
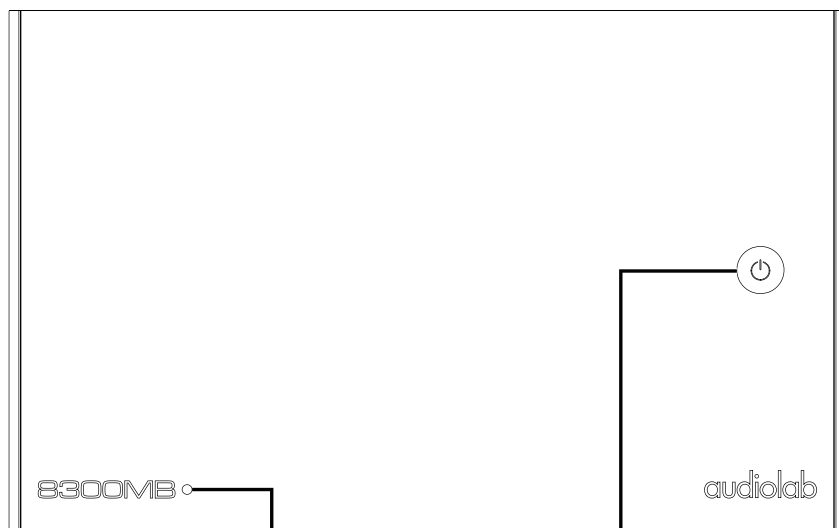
- Audiolab 8300MB 本体
- 電源ケーブル
- 取扱説明書・保証書

上記のものが欠品もしくは破損していた場合、お求めになった販売店または、輸入代理店までご連絡ください。尚、梱包箱を含めた付属品はアフターサービスの際に必要になります。大切に保管してください。

設置

本機を設置する際は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し離して置いてください。また、ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。必ず付属の電源コードを使用し、AC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでください。もし本機後部パネルに表示されている電圧の値がお住まいエリアの電圧と異なる場合販売店または輸入代理店にお問い合わせください。

3: 各部の名前(本体)



4: 接続- 1

機器の設置と使用を開始する前に、次の注意事項をよくお読みください。

8300MBの内部にはユーザーが調整可能な部品はありません。
修理要件については、資格のあるエンジニアに問い合わせるか、
販売店または輸入代理店にご相談ください。

重要な注意事項：本機の電源を入れた状態でスピーカーまたはコンポーネントをアンプに接続しないでください。接続する前には必ず8300MBの電源をオフにしてください。
Audiolab 8300MBモノラルアンプは動作中は発熱をいたします。
排熱不足による過負荷などが発生するとアンプが自動的にオフになります。
8300MBの周りには排熱のための十分な空間を確保してください。

電源の接続

国内正規品のAudiolab 8300MBモノアンプは100V AC電源への接続に適したバージョンで提供されます。
アンプを接続する前に、正しいバージョンであることを確認してください。
アンプがマークされた電圧よりも低い電圧に接続されている場合、
最大出力電力は指定値よりも低くなります。

お住まいの地域の電圧に疑問がある場合、または異なる主電源電圧を使用する地域で機器を使用する予定がある場合は、販売店にご確認ください。

Audiolab 8300MBモノラルアンプには、日本国内に於いて適切な電源プラグが取り付けられた電源ケーブルが付属しています。
このプラグはケーブルから切断しないでください。
何らかの理由でプラグを取り外した場合は、安全に廃棄する必要があります。

入力

XLR バランス接続：Audiolab 8300MBモノラルパワーアンプをAudiolab 8300CDやXLR出力を有した機器に接続する場合、バランス（XLR）接続の使用を推奨します。
XLR入力は3本の導体を使用します。
1本はグランド用で、2本は電圧のプラス信号とマイナス信号用です。
このようにして、アンプに送信される信号は「クリーン」になり、アース誘導電流やその他の空中干渉がなくなります。
XLR相互接続は、シールドされたツイストペア構造である必要があります。
ご不明点がある場合は、販売店にお問い合わせください。

RCA アンバランス接続：XLR入力を使用できない場合は、8300MB背面パネルのアンバランス（RCA）入力コネクタースソースユニットの一致する出力コネクタに接続してください。

入力セレクター：信号入力を接続する場合、入力セレクターが適切な入力（XLR or LINE）に切り替えられていることを確認します。

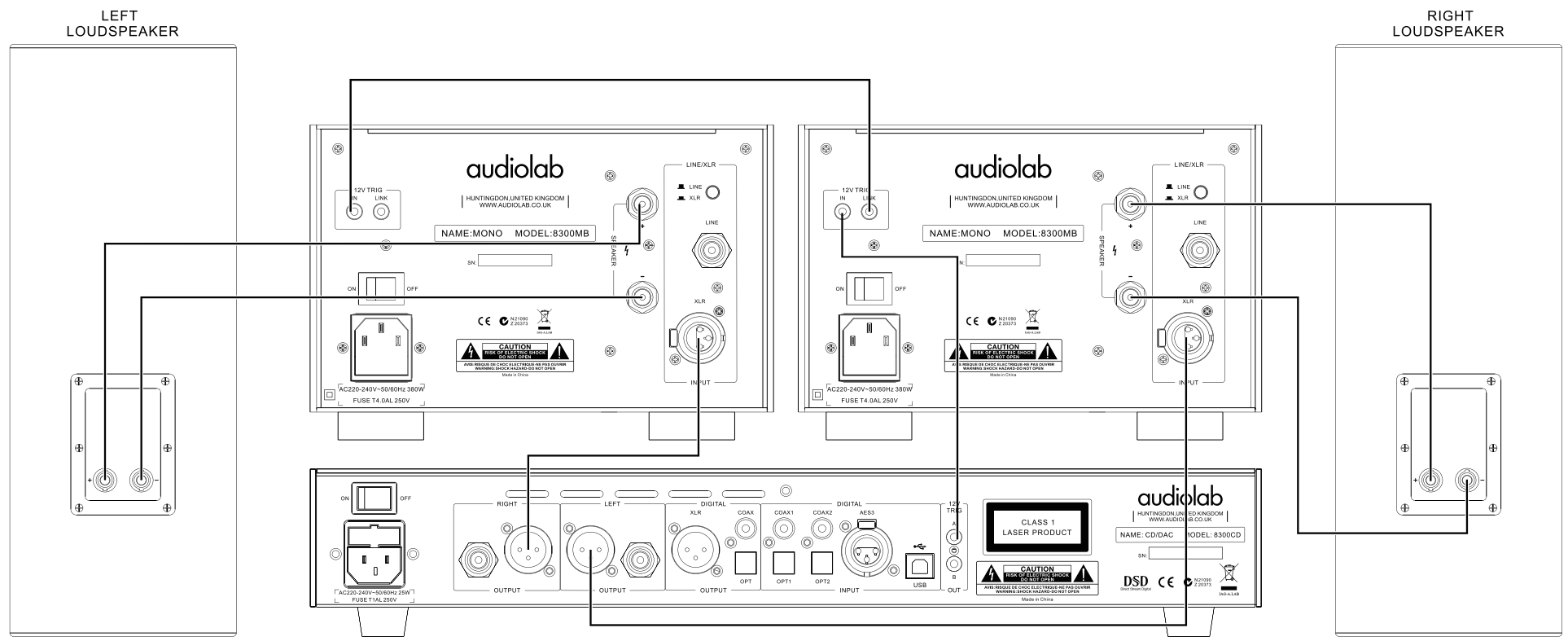
・入力セレクターのスイッチは押し込み方式です。通常のポジションはLINE RCA入力を選択されている状態です。スイッチが押し込まれた状態はXLR入力を選択された状態です。

12Vトリガー

8300シリーズ複数台でオーディオシステムを構成している場合、12Vトリガー回路を使用することで電源の一括操作が可能になります。
本機ではINとOUT 2つ12Vトリガーコネクタを備えており、他の機器からのトリガー信号を受けて起動することができます。
また、同じトリガー信号を別のトリガー入力対応の機器へ供給することができます。

4: 接続 - 2

接続例



5: 基本操作

アンプの性能は、コンポーネントの物理的および化学的特性に関連する多くの要因により、一定期間使用すると安定する傾向があります。システムを最初にインストールしたとき、システムを数時間音楽信号で実行することをお勧めします。変更は非常に微妙ですが、数日後には音質がより滑らかで自然になります。

電源を入れる

Audiolab 8300MBモノラルアンプの電源オン/オフスイッチは背面パネルにあります。スイッチを押して、8300MBのオン/オフを切り替えます。アンプの電源がオンになると、前面電源LEDが赤く点灯します。アンプを使用していないときは、主電源スイッチをオフにしてください。注：本機の電源をオンにする際接続された他のコンポーネントの電源がオンになっている事をご確認ください。また他のコンポーネントの電源を切る前に本機のオフ電源をオフにしてください。機器の電源をオン/オフするときは、システムの音量が最小であることを確認してください。

自動スタンバイモード

Audiolab 8300MBモノラルアンプは、自動スタンバイ機能があります。この機能を使用すると、8300MBへ信号入力、または操作が20分間行われなかった場合に自動的にスタンバイモードになり、電源インジケータLEDは微光になります。スタンバイスイッチを押すとスタンバイが解除され電源インジケータが赤く点灯します。スタンバイスイッチを3秒間長押しすると、自動スタンバイ機能のオン/オフが切り替わります。この設定は主電源の入切をしても引き継がれます。

オン	スタンバイスイッチ3秒長押し→電源インジケータLED 1回点滅
オフ	スタンバイスイッチ3秒長押し→電源インジケータLED 2回点滅

アンプ保護機能

Audiolab 8300MBモノラルアンプは、一定期間アンプに過度の負荷がかかるとオーディオ出力を中断する温度ヒューズによって保護されています。8300MBが保護モードになると、前面パネルのLEDが点滅します。動作を復元するには、しばらくの間ユニットの電源をオフにしてから、再度オンにします。

スピーカーの位相確認

両方のチャンネルが正相で接続されていることを確認してください。各チャンネルの出力端子は、スピーカーの端子に正しく接続する必要があります。

位相：フェーズが重要になるため、バイワイヤリング接続を行う場合は特に注意が必要です。スピーカーの接続方法に疑問がある場合は、モノラルソースを再生して位相を確認します。正しい場合2つのスピーカーの中間点から音が出るはずですが、この中央の位置に焦点が合っていない場合は、スピーカーの1つへの接続を逆にします。

メンテナンス

本機を拭き掃除をする場合必ず電源をオフにした状態で行ってください。水で濡らした後にきつく絞った柔らかい布を使用してください。注：筐体を開けて内部を掃除する事はしないでください。筐体内部のメンテナンスについては輸入代理店の指示に従ってください。

6: 仕様

定格出力	250W 8オーム (<1% THD,1kHz)
歪率 (THD)	<0.005% (100W 1kHz) <0.01% (100W, 20Hz-20kHz)
周波数特性	-0.5dB (20Hz-20kHz, ref. 1kHz) -3dB (0.1Hz-150kHz, ref. 1kHz)
入力感度	1500mV (RCA ライン)
入力インピーダンス	44 kohm (バランス) 22 kohm (アンバランス)
S/N比	115dB
電源	100V~50-60Hz
最大出力	400W
スタンバイ時消費電力	<0.5W
外形寸法(mm) (W x H x D)	216 X 150 X 370
梱包寸法(mm) (W x H x D)	350 X 285 X 495
本体重量	9.5kg

Audiolab 総輸入代理店

ESF | **EASTERN
SOUND
FACTORY**

株式会社イースタンサウンドファクトリー
〒223-0056

神奈川県横浜市港北区新吉田町205

Tel: 045-548-6592

Fax: 045-548-6593

HP: <http://esfactory.co.jp/>